

# 検証意見書

2024年2月23日  
意見書番号：SGS24/059

株式会社デンソー  
愛知県刈谷市昭和町1-1  
代表取締役社長  
林 新之助 様



## 検証目的

SGSジャパン株式会社（以下、当社）は、株式会社デンソー（以下、組織）からの依頼に基づき、組織が作成した検証対象（以下、GHG等に関するステートメント）について、検証基準（ISO14064-3:2019及び当社の検証手順）に基づいて検証を実施した。本検証業務の目的は、組織の対象範囲にかかるGHG等に関するステートメントについて、判断基準に照らし適正に算定・報告されているかを独立の立場から確認し、第三者としての意見を表明することである。GHG等に関するステートメントの作成及び公正な報告の責任は組織にある。

## 検証範囲

検証対象は、Scope1、Scope2、Scope3、取水量及び排水量である。

対象期間は2022年4月1日～2023年3月31日である。

詳細な検証対象範囲は別紙参照。

## 検証手順

本検証業務は、検証基準に則り、限定的保証水準にて次の手続きを実施した。

- 算定体制の検証：検証対象の測定・集計・算定・報告方法に関する質問、及び関連資料の閲覧
- 定量的データの検証：大安製作所及び広瀬製作所の現地検証及び証憑突合、本社でのその他検証対象範囲に対する分析的手続及び質問

判断基準は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律、温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル（Ver.4.9）、IPCC Guidelines for National Greenhouse Gas Inventories(2006)、GHG protocol(Corporate Standard及びEmission factors from cross-sector tools)、フロン排出抑制法、サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン（Ver.2.5）及び組織が定めた手順を用いた。

## 結論

前述の要領に基づいて実施した検証手続の範囲において、組織のGHG等に関するステートメントが、判断基準に従って、算定及び報告されていないと認められる重要な事項は発見されなかった。

なお、当社は、組織から独立しており、公平性を損なう可能性や利害の抵触はない。

SGSジャパン株式会社

神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134

横浜ビジネスパークノーススクエアⅠ

認証・ビジネスソリューションサービス

経営委員会メンバー

認証・認定統括責任者

竹内 裕二

別紙

2024年2月23日  
意見書番号：SGS24/059

## 検証対象範囲の詳細

検証対象	検証範囲	GHG等に関するステートメント
1 Scope 1, 2 ※敷地外における移動体の燃料燃焼及び浄化槽におけるし尿及び雑排水の処理に伴う GHG は除く	組織の連結対象範囲(190社206拠点)  ※国内60社75拠点、海外130社131拠点及び小口拠点に関わる1集計単位	エネルギー起源CO <sub>2</sub> Scope1 : 566,557 t-CO <sub>2</sub> Scope2 : 1,217,132 t-CO <sub>2</sub> エネルギー起源CO <sub>2</sub> 以外のGHG Scope1 : 117,447 t-CO <sub>2</sub>
2 Scope 3 (カテゴリー1、2、3)	組織の連結対象範囲	Cat. 1 : 9,930,365 t-CO <sub>2</sub> Cat. 2 : 1,261,823 t-CO <sub>2</sub> Cat. 3 : 359,435 t-CO <sub>2</sub>
3 Scope 3 (カテゴリー4)	組織の連結対象範囲 ※国内グループ会社における出荷物流は26社に限る	Cat. 4 : 1,350,777 t-CO <sub>2</sub>
4 Scope 3 (カテゴリー11)	組織の連結対象範囲 ※車載事業に限る	Cat. 11 : 15,092,655 t-CO <sub>2</sub>
5 取水量及び排水量	69社81拠点  ※国内25社37拠点、海外44社44拠点	取水量 : 15,075 千 m <sup>3</sup> 排水量 : 11,973 千 m <sup>3</sup>